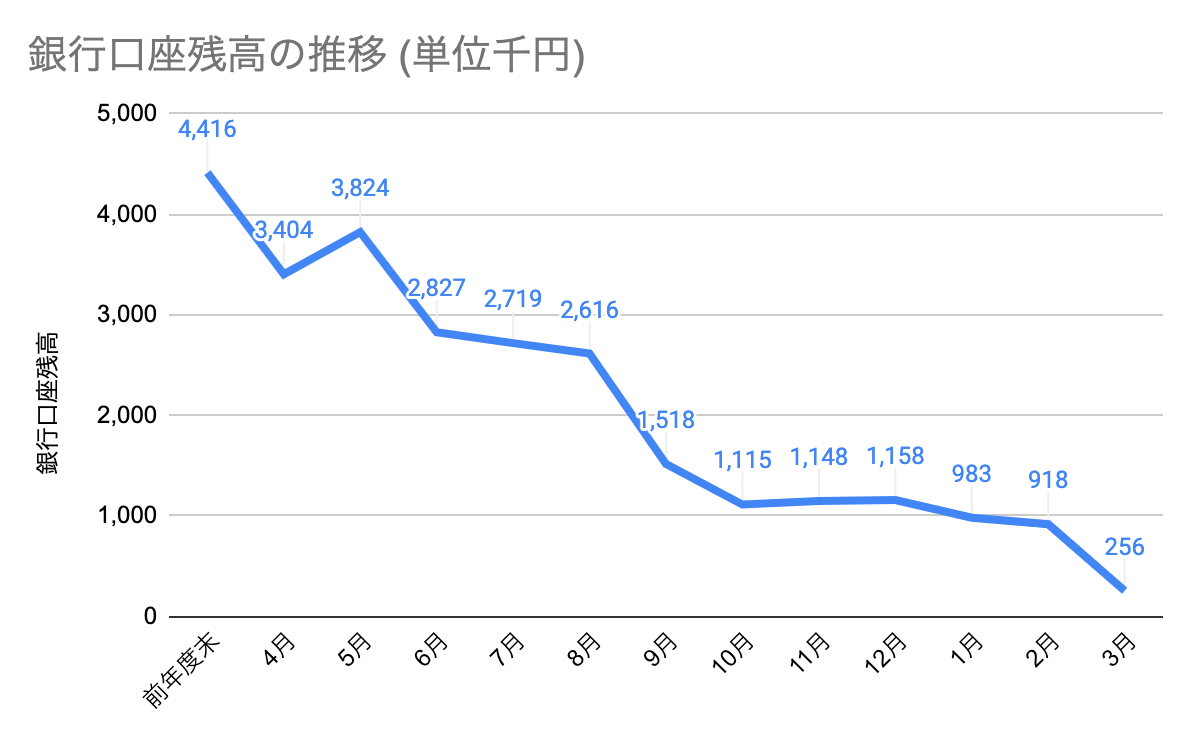
2024/6/19

特定非営利活動法人耕　第２回総会　資料

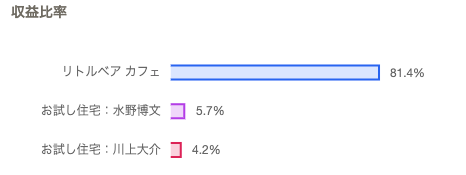
＜私達の活動の現状を把握・理解し、明日を考える＞

財務からの視点

（各数値はNPO法人財務諸表の詳細数値とは異なるものがあります）

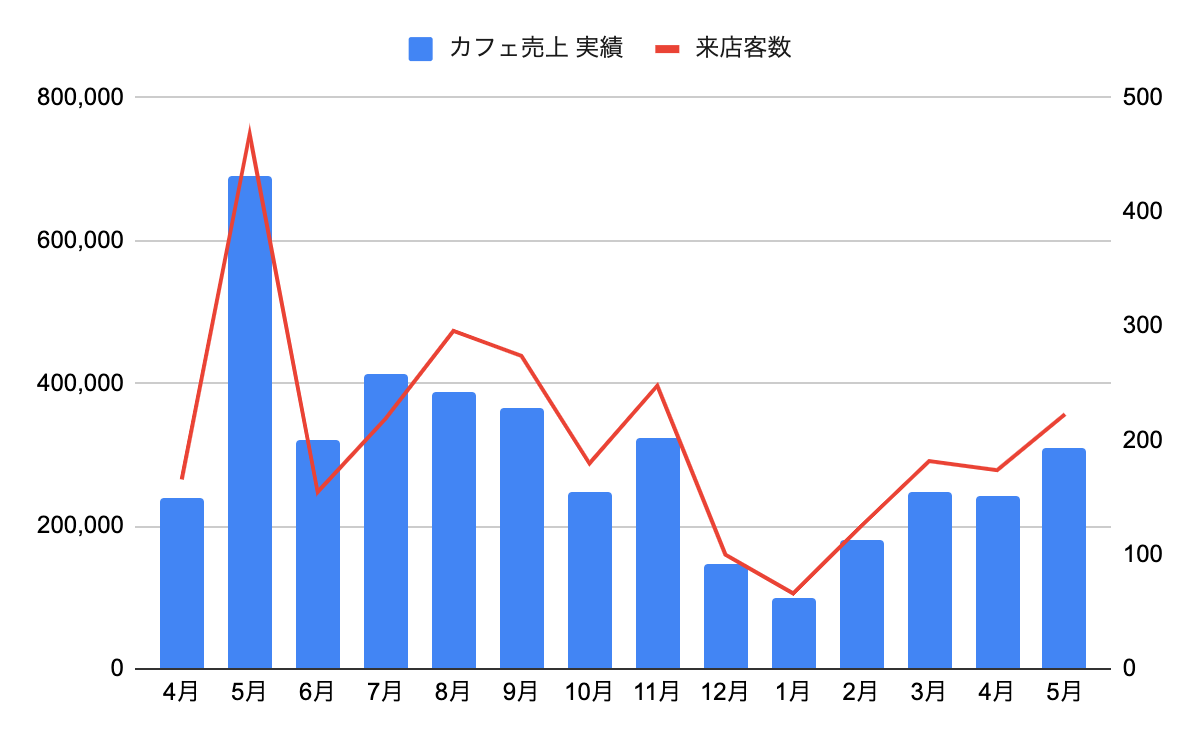
①　銀行預金残高は、期首4,416千円ありましたが、**期末では256千円**と4,160千円減少しました。リフォーム費用6,000千円のうち、2,000千円を倚草庵（株）に振込み、昨年度分と合わせて、費用の半分の耕の負担分は支払済みとなりました。

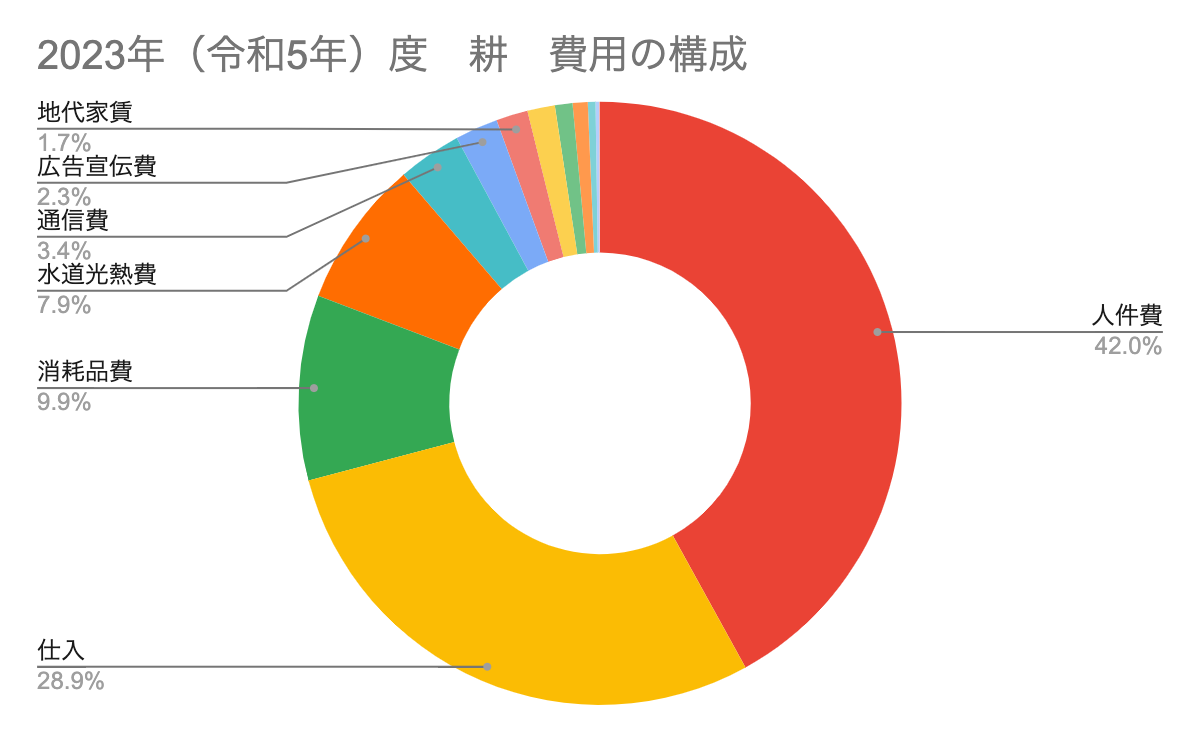
②　収入は、リトルベアカフェ の売上とお試し住宅のお世話料からなりますが、そのうちカフェの飲食営業の売上が80％を占めます。

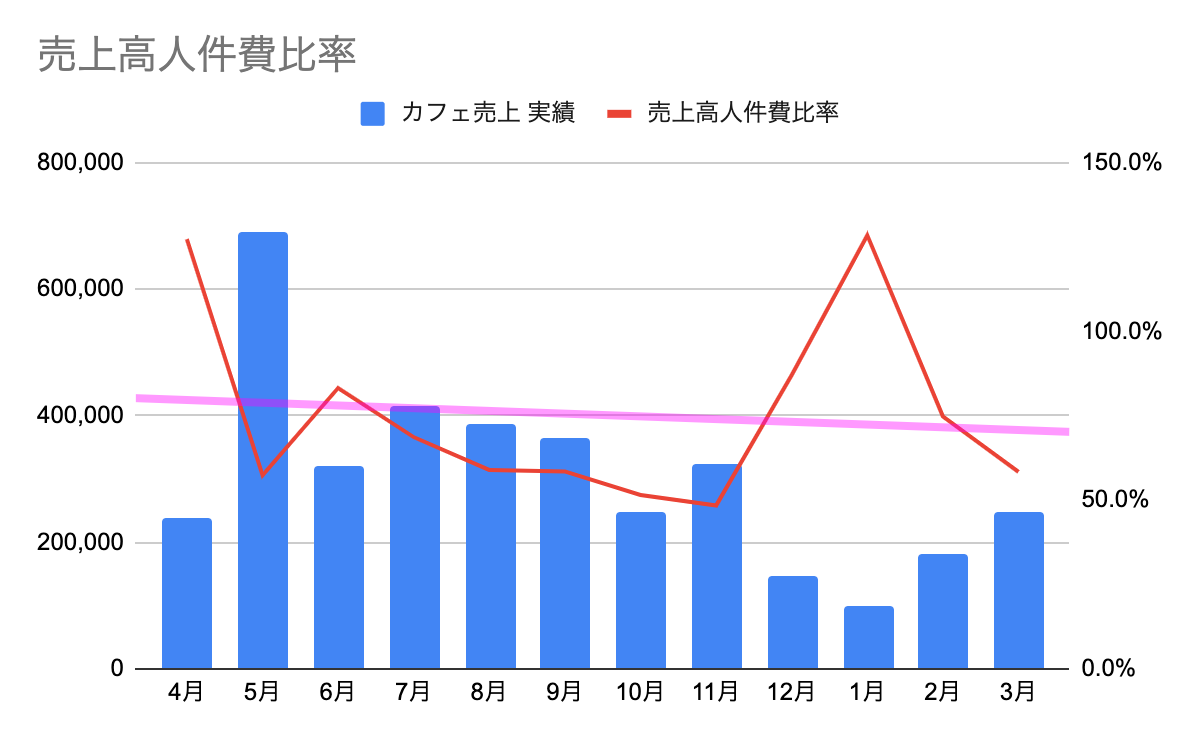


　③　現時点では、耕の収益はカフェの飲食営業の収支に依存していますが耕の損益は下記の通りです。

④　カフェの売上高と客数の推移です。今期4月と5月もグラフにしました。県道が不通の中、売上の前年比は4月が100.9%、5月が44.8%でした。4月の売上には、「熊宿場フェス」の集客が大きく貢献しました。



⑤　耕の費用の大半は、仕入と外注費が占めます。

⑥　カフェの売上高に閉める人件費の比率は、トレンドとしてコントロールされてきています。

非財務からの視点

🔵 私たちについて

理事（理事会）

現在3名（定款では10名以内）で構成していますが、男女を問わず地元の方たちに耕の活動と業績向上に主体的に関与していただくためにも、2年に一度の役員改選時に理事を徐々に増やしていきます。（次回改選は令和7年5月の理事会）

耕会員（耕運営委員会）

現在、役員含めて25名です。特に何か使役等の負担を強いるものではなく、熊の現状と将来について一緒に考え意見交換する気軽な組織です。熊を暮らしやすい地域として後世に残すために活動する耕の応援団と考えていますので、ご近所、お知り合いの方等会員にお誘いいただければ幸いです。

賛助会員

現在3名の方の賛同をいただいています。耕の活動と利害関係をもつ地域外の法人等の組織の方を対象に考えていますが、企業活動で「自然資本」との関わりが重要視される昨今、中山間地域に目を向ける企業との連携を視野に賛助会員を募っていきます。

🔵 事業について

定款では、中山間地域の課題解決を目的に９つの事業を掲げています。目的を達成するために、熊幼稚園旧園舎（以下、リトルベア ）を浜松市から無償貸借して熊財産区から600万円を借り受けて（年60万円10年返済）園舎をリフォームし、2023年（令和4年）度は保育する場所とその場所を維持管理する資金を産むためにカフェの営業を開始しました。また、ハイツ若葉を移住促進と地域活性化の為の施設として、旧田中薬局を耕本部事務所として借り受けこうした事業の拠点としました。こうして計画した活動は、2023/6/2の県道崩落以来1年の長きにわたり縮小を余儀なくされましたが、その県道も本年6/3に復旧開通して、いよいよ本年度から各活動を本格稼働できるようになりました。

①　リトルベア は、天竜区「保育ママ制度」の保育する場所として整備しましたが、子育て環境の改善という耕の事業目的達成の為の一つの制度としては不備がありますので、浜松市の制度の運用を中山間地域の振興と連携するように制度の改善を提案していきます。（「対象者が天竜区に住民登録のある」という条件の撤廃等・・）

②　リトルベアカフェ の営業収支は赤字でした。県道復旧とイベント開催等による客数増と、平日及び荒天時対策・繁忙時対策・販売品目の見直し・SNS等の情報発信により2024年度は飲食事業として黒字転換します。

③　リトルベア のフリースペースを活用し、「都市地域と中山間地域の交流に係る事業」として、企業・団体の研修を受け入れる活動を計画・実行していきます。具体的には、企業活動にとって「持続可能な社会の実現に向けた取り組み」が不可欠になってきている現在、企業の中山間地域への理解や活動を促す研修として、ノルディック・ウォークと環境学習などを組み合わせたメニューを提案して、数名から50人規模の研修の機会を提供・受け入れていきます。

④　耕本部事務所を静岡県農林漁家民宿に登録して、短期滞在施設としての利活用ができるようにしていきます。将来のハイツ若葉の1LDKの各部屋の利活用を視野に入れて、熊地域での滞在需要の掘り起こしをして、関係人口創出の糸口を掴んでいきます。

本年度は、このような事業に集中して成果を上げてまいります。